TRPGリプレイ

トーキョーノヴァ　ザ　デトネイション

――かごのなかのことり

▼まえがき▼

これから始まるものは、TRPG（テーブルトークRPG）という遊びです。これはRPGをテーブル上で、会話、紙と鉛筆を使って、4～5人の仲間が集まって、わいわいと遊ぶものです。

　今回は『トーキョーN◎VA』というゲームを使って遊んでいます。TRPGにもいろいろな種類があり（RPGにドラクエやFFなどの種類があるのと同じです）、洞窟に潜ってモンスターを退治してレベルアップするものから、キャラクター間の即興劇に近いようなものまで、さまざまなものがあります。

　『トーキョーN◎VA』というゲームでは、大災害が起こった後の未来の地球を舞台にしています。世界中で食糧が足りなくなり人口も激減した中で、お偉いさんが宇宙の人工衛星に逃げていた日本だけが食糧の大量生産をする技術を持っていました。そしてその技術を持って世界で最強の国になった日本が鎖国をし、その『出島』として作られたのが『トーキョーN◎VA（トーキョーノヴァ）』という街です。ここでは大企業やヤクザや軍隊の偉い人が実権を握っており、世界中からいろいろな人がごちゃごちゃと詰めかけてきています。未来の話なので、世界中の何でも（人間ですら）インターネット（ウェブ）に繋がれ、体を機械に置き換えている人も普通に生活しています。

　つまり、未来の、ちょっと治安が悪いだけの何でもありの世界です（笑）

　このゲームをするために集まったのは五人。そのうち一人が、司会進行役のRL（このゲームではルーラーといいます）になって場を仕切ります。後の四人はそれぞれプレイヤーとなって、自分の分身になる一人のキャラクターを作ります。生い立ちや性格もそれぞれのプレイヤーが自分の手で考えたものになります。

　TRPGではプレイヤーとRLの想像力と常識の許す限り、思いついたこと、やりたいことを自由に進めていくことができます。ただし、ゲームですからそれが本当に成功するかどうかは分かりません。それを決めるのが「判定」です。本文中に「達成値」とか「目標値」という単語が出てきたら、判定をしていると思ってください。

また、<>や≪≫で括られたものが出てくると思います。<>はそのキャラクターのできることを表したものです。コンピュータゲームにおける「コマンド」のようなものです。また≪≫で括られたものは「神業（かみわざ）」と呼びます。それぞれのキャラクターがそのゲーム中に三つだけ使うことができるスペシャルパワーです。ここでは簡単に「RLが認めれば何でもできる」と思っておいてください。

▼用語説明▼

　いくつか特殊な用語を説明させていただきます。

・キャスト　主役のキャラクターのこと。

・ハンドアウト　プレイヤーが事前に分かる情報のメモ。

・スタイル　そのキャラクターの職業や個性を表現したもの。

・プラチナム、ゴールド、シルバー　お金の単位。

・マネキン　ヒモ、愛人、学生、子どもなど、他人に頼らないと生きていけない人。

・舞台裏　そのシーンに登場していない人が情報収集などをしていることを表す。

・イントロン　ウェブに接続し、ウェブ上から何かにコンタクトをしている状態。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

